

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2018年度 第3四半期決算発表

単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収
物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益

第3四半期決算としては過去最高!!

JR 東日本は、1月31日に「2018年度 第3四半期決算」を発表しました。単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収かつ、第3四半期決算としては過去最高となり、ただし物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益となりました。連結決算は増収増益。営業収益は7期連続の増収かつ、第3四半期決算としては過去最高。また、全ての利益が過去最高でした。内訳として運輸事業は、当社の運輸収入が定期外収入を中心に増加したことなどにより、増収増益。流通・サービス事業は、東京駅等の店舗の売上が好調であったことなどにより、増収増益。不動産・ホテル事業は、「ペリエ千葉」の全面開業に伴う増収効果やホテル業の好調などにより、増収増益。その他は、情報処理業やICカード事業の売上が増加したことなどにより、増収増益と発表しました。

単体決算

(単位は億円)

科 目	2017年度 第3四半期決算	2018年度 第3四半期決算	増益金額	前年比 (%)
営業収益	15,806	15,978	171	101.1
運輸収入	13,926	14,080	154	101.1
営業利益	3,750	3,692	△58	98.4
経常利益	3,459	3,392	△66	98.1
四半期(当期)純利益	2,418	2,395	△23	99.0

単体では営業収益・運輸収入は7期連続の増収
連結では全ての利益が過去最高であり、第3四半期としては過去最高です。
JRで働く全ての労働者の力で、2019春闘勝利を目指そう!!